

安来の事業所紹介します

第一回目は安来の古民家をリノベーションした本屋さん『子どもの本 つーぼ』を紹介します。代表は市ヶ坪裕子さん。子どもの頃から好きだった本の“わくわくドキドキ”した世界を伝えたいと開業されました。では、早速お話を伺ってみましょう。

【開業するのにこだわった点は？】

場所です。安来の街中が賑わってほしい気持ちが強かったので、安来以外の場所で開業は考えられませんでした。でも、なかなか見つからず半ば諦めかけていた頃にこの古民家が見つかりました。明治時代からある建物なので柱や天井の素材を生かしつつ必要ところは手を加え、お客様に居心地のよい空間で、わくわくした気持ちで本を手にとってもらえるように心がけました。



【開業してみて大変だったことは？】

自分で商売をするのは初めてなので何から手を付けていいかも分からず、商工会議所で創業について色々アドバイスいただきました。

【どんなお店にしていきたいですか？】

絵本＝子どもの本というイメージがありますが、実は大人も楽しめるのが絵本の魅力の一つだと考えています。ページをめくるドキドキ感、絵の美しさにほっこりしたり、忘れていた子どもの頃を思い出したり…。絵本ならではの醍醐味を大人の方にも伝えていけるお店にしたいです。



...【編集後記】

今後は作家さんをお呼んでの講演会など、本の面白さを伝えられるようなイベントも計画していきたいと笑顔で語る市ヶ坪さん。安来の街が賑やかになるように、私たち商工会議所も継続して支援させていただきます。

